



1年の締めくくりに

校長 垣崎 晃

まもなく121人の子供たちが、練馬区立大泉東小学校第64回卒業生として巣立っていきます。卒業生に、保護者の皆様に心からお祝いを申し上げるとともに、直接・間接的に指導・援助に関わってくださった多くの方々に厚く御礼申し上げます。

子供たちは、卒業式を境にして、自立の道へまた一歩大きく踏み出します。卒業式は出口であり、そして入り口でもあります。そんな卒業式が今年ももうすぐやってきます。進学、進級への大事な残り16日（5、6年は17日）、次の学年への第一歩を踏み出せるように、1年間のまとめに取り組んでいます。

さて、大東小では、この1年、「授業規律を身に付けよう」を目標に学校全体で取り組んで参りました。「チャイム着席」「あいさつは語先後礼」「話をしている人を見る」「名前を呼ばれたら、はい、・・・です。」「準備をしてから休み時間」です。子供たちにとって、すぐに身に付けられたものもありましたが、難しかったものもあったようです。学校全体で見ると、少しずつレベルアップしていくのがわかりました。特に「あいさつ」は、頑張りが見られる子が増え、とてもうれしく思っています。

古代日本では、使い方によって幸せと不幸せを左右する「言葉に宿っていると信じられていた不思議な力：言霊」を信じていたそうです。現在の私たちの生活の中でも、そのように感じる場合があります。心無い一言で落胆し、もう駄目だとあきらめていたときかけられたあたたかい一言で励まされ、元気になることがあります。

すてきなあいさつは心を元気にしてくれます。来年度も「あいさつ」を重点目標とし、子供たちの豊かな心を育んでいく教育にあたっていきます。

卒業していく6年生とともに、令和元年度の総まとめをし、希望に膨らむ新入生とともに新しい年度を迎えたいと思います。今年度も、保護者や地域の皆様にはたいへんお世話になり、ありがとうございました。来年度も皆様のご理解とご協力をよろしく願います。